

RISE English Course 英単語カレンダーを使った

英単語

の学び方・教え方

－ はじめに －

「ライス」などの語を初めて聞いたとき、辞書で意味を調べたり、何度も書いて覚えたという人は少ないと思います。ではなぜ英単語は、繰り返し練習しても覚えられないのでしょうか？

英語が苦手という人の多くは、ice や rice などのつづりが似ていること、slice や slide の sl が日本語の「するり」や「すらり、すらすら」に通じる意味をもつこと、ride は「ライダー」などの語でよく聞き知っていることに気づいていません。

ice = ice : 氷

r + ice = rice : 米、ごはん

sl + ice = slice : うす切り

sl + ide = slide : すべる

r + ide = ride : (馬などに)乗る

気づきをうながす単語配列と、そこから得られる情報を統合し、自ら学ぶ力を養うことが、この英単語カレンダーの特長です。丸暗記はもう必要ありません。以下のポイントを確認して、効果的に英単語力をアップしましょう。

◇ ice などの i-e は i を「アイ」、ace などの a-e は a を「エイ」と文字の名前のままに発音し、e は発音しません。

ポイント 1

－ ‘音の足し算・引き算’ に慣れる －



単語は「音の足し算」で出来ています。基本を押さえた上で、音を足したり引いたり、入れ替えたりすること（音韻操作）に慣れれば、ほんの少しの練習でたくさんの単語を読み書きできるようになります。

r + ack = rack : 棚 (たな)

r + ack + et = racket : ラケット

p + ack = pack : つめ込む

p + ack + et = packet : 小包 (こづつみ)

ee は「イー」のように発音します。書くときは「ブ・イー・フ beef」と言いながら練習してみましょう。何度も繰り返し書くよりは、カレンダーを見ながら毎日少しずつ、鉛筆がなければ手のひらに指で書くだけでも十分です。

b + ee = bee : ミツバチ

b + ee + f = beef : 牛肉

fr + ee = free : 自由な

tr + ee = tree : 木

thr + ee = three : 3、3つの

◇ racket / packet は語の最初の部分を強く、高く、長く発音しましょう。語尾の et は軽くそえるように、e は「イ」に近く発音されます。

ポイント 2

－ 知っている語と結びつける －



私たちは毎日たくさんの英単語を見聞きしています。その数は、小学高学年でも軽く1,000語を超えるでしょう。ポイント1で取り上げた語も、聞き覚えがあるものが多くありませんか？ 他にも motor (モーター) をもとにすれば、

mot + or = motor : モーター

mot + ive = motive : 動機

mot + ion = motion : 運動、動作

e + mot + ion = emotion : 感情

pro + mote = promote : 昇進させる

pro + mot + ion = promotion : 促進

カタカナ語だって「アクセス」をもとにすれば、次のような語はぐんと覚えやすくなります。

ac + cess = access : 接近方法

ac + cess + ory = accessory : アクセサリー

pro + cess = process : 過程

ex + cess = excess : 過剰

ex + cess + ive = excessive : 度を越した

◇ ここで取り上げた mot は「動く」ことを、cess は「行く、進む」ことを意味します。ポイント4を参照してください。

ポイント 3

- ‘音と意味との関係性’ に気づく -

SI-は「すっ、するり、すらり、そろり」など、日本語と英語でも音と意味との関係性（音象徴）によく似た点がたくさんあります。そこで問題！音から受けるイメージをたよりに、語の意味としてふさわしいものを線で結んでみましょう。

- | | | | |
|-------|---|---|------------|
| slap | ・ | ・ | さっと切る |
| slam | ・ | ・ | (ピシャリと)閉める |
| slash | ・ | ・ | 平手打ちをする |

Slap の p からは「パンッと打つ音」が、mからは「ムツと力を込める様子」もイメージされます。slash は「シュッと切る」真似をしながら発音してみましょう。

He slammed the door.

彼はドアをピシャリと閉めた

Don't slam on your brakes on icy roads.

凍った道で、急ブレーキを踏むな

辞書は大切なパートナーですが、頼り過ぎは禁物です。slam は「閉める」以外に「急に踏む」などを意味します。訳を丸暗記するのではなく、「ドアを slam する」「凍った道で、ブレーキを slam するな」として場面や文脈にあった訳を自分で考えてから辞書を引く習慣をつけましょう。

◇ 他に sp / spr 「ぶっ、ぷりっ」、wr は「ねじれ」、str は「伸び、張り」、tr / dr は「つるり、ずるずる」などの意味合いがあります。

ポイント 4

- ‘語の成り立ち’ を知る -

「拍手」の「拍」が「扌：部首」と「白：音記号」から成るように、英単語の多くも語の中核となる部分「語根」と、その前後に付く「接頭辞、接尾辞」の組み合わせから成り立っています。

form = form : 形

form + al = formal : 形式ばった
☞ form : 形式 + al : 的な

uni + form = uniform : 同形の
☞ uni : 1つの + form : 形

trans + form = transform : 変形する
☞ trans : 別の + form : 形

International などの語も、パーツに分けると意外と簡単に読み書きできます。-al / -ity / -ation などはパターンとして覚えましょう。

national = nation + al
: 国家の ☞ nation : 国 + al : …の

international = inter + nation + al
: 国際的な ☞ inter : 間(あいだ) + national

community = com + mun + ity
: 共同体 ☞ com : とともに + mun : 分かつ

communication = com + munic + ation
: 共同体 ☞ communic : 伝達する + ation : こと

◇ com- は con- の異形です。p/b/m などの前では in- も im- に、r の前では ir-、l の前では il- となります。

- その他のポイント -

⇒ 毎日少しずつ・速読にも挑戦

カレンダーはよく目につく場所に貼って、毎日、ほんのわずかな時間でも繰り返し読みましょう。ある程度読めるようになったら、1カ月分20~30秒を目安に、速読にも挑戦しましょう。

⇒ 意味だけを見て言ってみる

例えば option が読めないときは単語の意味、この場合は「選択」を参考にしてみましょう。

⇒ 準拠アプリを活用をする

無料アプリを使ってタイピング練習をしましょう。耳だけに頼らず、語の意味や文字わくなども参考にして音を聞き取れるようにします。

脚(あし)

leg

頼む

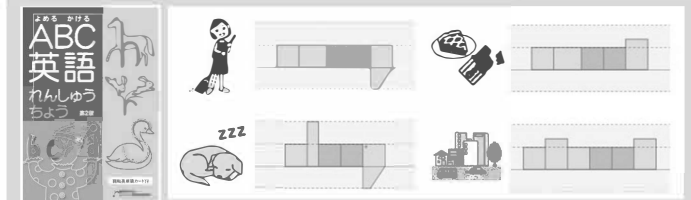
beg

大きい

big

⇒ 目からの情報を生かす

文字わくは視覚記憶を促します。特に入門期には「ABC英語れんしゅうちょう」との併用をお勧めします。



登録新案第3184649号

⇒ タイピングはこちらから

タイピング練習(無償)は右下のQRコード、または <http://rise.gr.jp> から。より詳しい手引き、各月ごとの単語の情報などもご覧いただけます。

発行元：NPO法人リヴォルヴ学校教育研究所
〒305-0051 茨城県つくば市ニの宮1-18-1 102
TEL 029-856-8143 <http://rise.gr.jp>

